



みさきっ子 第16号



平成30年12月25日(火)
【喜屋武小学校学校だより】

糸満市字喜屋武555番地
TEL : (098) 997-2298

【募金ぞうてい式】(12月5日・水)

児童会を中心に、10月24日から取り組んできた、赤い羽根共同募金の贈呈式を行いました。当日は糸満市社会福祉協議会：玉城 満さんが来校、みさきっ子の気持ちを託しました。「人のために役立てて欲しい」等の子ども達の優しさ・思いやりの心に初心にかえりました。の伝言がありました。



【ふれあい週間】(11月16日・金)

月の第2週目を「ふれあい週間」に設定し、高学年をリーダーに大縄跳びに挑戦しました。



たんばい	31	37	34	34	31	33	33
サルビ	19	16	17	32	47	29	23
すみれ	42	30	32	43	47	45	53
にんげん	42	45	40	48	55	56	67
まはら	37	25	43	35	36	34	39
つじ	39	38	45	29	34	16	19
さくら	28	36	40	40	44	52	50
ゆり	38	47	34	39	45	6	54

グループで縄の廻し方・かけ声等を工夫し、最終日には「何回跳べるようになったか」記録会も実施しました。

3学期は、どんな種目にチャレンジするのか楽しみです。(1年生も上手に跳べるようになりました。)

【3学期に向けて：みさきっ子の学び合い】

学校教育では「読み書き・計算」ができるだけではなく

(1)なぜ、そのように解いたのか。

自分の思いや解決方法を説明できる子が求められています。(「思考力・判断力・表現力」が重視されるようになってきました。)問題や課題に対して、自分の考えを説明できる子友だちと学び合う中で「分かる喜び」を味わえられる子の育成を目指しています。

(2)生活の中で実際に活用できる。

子ども達は、学んだことを生活の中で活かすことによって、深く理解されていきます。「学ぶ喜び」が蓄積されて、生きて働く学力に結びついていきます。

3学期は、各学年の学力の定着をめざしてみさきっ子は、授業に向かう姿勢が上向きになってきましたが、上記にまだまだ個人差が見られます。

学校では、3学期は学力の定着に向けて、更なる授業改善・補習等に力を入れ、取り組んで行く予定です。

保護者の皆様にも、下記のご協力をお願いします。

授業参観日は、ぜひ教室の中での参観を通して

○我が子の「学び方・ノートのとり方・発言・学び合い」等を参観してください。

ご家庭でも、親子の会話や家庭学習を通して

○なぜ、「そのように思ったのか。そのように考えたのか。」等、顔を見て、数多い具体的な会話をしてください。



[上段は、1・2・3年生]

[下段は、4・5・6年生]

【教材園の耕作&肥料入れ&ジャガイモの植え付け】



国吉 武光さん(学校評議員)が、トラクターを使って教材園の耕しを2回実施してくれました。また、牛糞の寄贈もあり、各学年が植え付けに取り組みました。最初に植えた3年生のジャガイモは芽を出しつつあります。ありがとうございました。



2年生は、山城博之真さんのおばあちゃんから、ニラ・ハルダマ等の苗が届き、ジャガイモと一緒に植え付けました。

地域のみなさまの学校に対するご協力に感謝します。

【今年も「みさきっ子」に寄付金】

○人材育成資金として・・・19,000円

NPO三和人材育成会

【会長：金城 佳隆 さん(元三和中校長)】

・三和中校区出身者で人材育成に賛同した方々の会

(講師料や漢字検定の問題集等購入として活用予定)

○図書購入費として・・・5万円

系数 修一 さん

【三柱有限会社代表取締役】

・喜屋武出身で現在は石垣市在住

妹の栄盛祐子さんが届けてくれました

【学級保護者会】(12月5日・水)

「2学期の教育活動や冬季休業中の生活について話し合う」
「3学期の協力・連携の強化を図る」をねらいに、保護者会を行いました。学年によって参加人数の増減がありましたが、いい話し合いができたこと、担任から連絡がありました。糸満市教育の日も多くのご参加・励ましをお願いします。



[1年生の教室]



[2年生の教室]



[3年生の教室]



[4年生の教室]



[5年生の教室]



[6年生の教室]

NPO法人
三和人材育成会

理念
三和地域の青少年を「健やかに・強く・元気に」育みます

三和人材育成会は
三和地域の出身者や有志によるボランティア団体です
平成25年6月にNPO法人の認定を受けました
三和地域の青少年を支援し、沖縄や日本、世界で活躍できる人材を育成するのが目的です
会員の収める会費と有志の寄付金等で会活動を実施しています
「人材育成は一朝一夕でできない」との理念で
大人たちの身の長い地道な取り組みが必要だと考えています
地域一帯となって若者の夢を育み豊かな人材を育てよう